学校番号	T1202

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	基礎学力活用講座２	単位数	１単位	年次	４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	授業プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「基礎学力活用講座」にて定着した基礎学力をより、定着を深めるとともにより実践的な活用をめざす科目です。そのためには、自身で目標を設定し、学習計画を立てて学習を行うことが必要です。
・教科や科目にとらわれず、積極的に学習し、少しずつステップアップできる機会にしてもらえたらうれしいです。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・現代の社会で活用できる知識をより深く学び、卒業後の進路決定や日常生活に役立つ応用的な学力の定着を図る。
【思考力、判断力、表現力等】
・学んだ応用的な知識を社会生活の中で生じる課題の解決に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・設定した目標や進路実現のために、応用的な学力等を生涯にわたり学び、社会で生じる課題解決に活用し続けようとする姿勢を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	国語力、計算力、英語力、歴史や地理、政治経済の知識などの、社会で生き抜くために必要な知識を応用できているか。 定着した知識を実践的に活用できる技能を習得できているか。	学んだ基礎学力や教養を進路実現や社会生活の中で実践的に活用することできているか。 問題や課題の解決のために、適切な思考や判断、表現を用いり、解決に導くことができる力が養われているか。	設定した目標や進路実現のために、活用できる基礎的な学力や教養を意欲的に学ぶ姿勢や努力が見られるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月 /10月	試験問題にチャレンジ	・一般常識、一般教養の問題を解いてみる。 ・就職試験や入学試験の過去問を解いてみる。	a:学習課題に取り組み、学力の定着を図るとともに、学習内容を理解できている。 b:結果や成績をもとに自己分析を行うことができる。 c:問題に取り組み、自身の到達度や理解度を確認し、今後の目標や学習計画を設定することができる。	定期考査 小テスト	理解度確認課題 振り返りレポート	目標設定シート 取り組み態度
5～8月/11～1月	一般教養の学習	＜国語＞ ・高校卒業程度の漢字の読み書きや長文読解を中心とした学習を行う。 ＜数学＞ ・数学的な計算やグラフや資料の解釈を中心とした学習を行う。 ＜英語＞ ・基本的な単語、文法を中心とした学習を行う。 ＜社会＞ ・歴史や地理、政治経済を中心とした学習を行う。	a:国語力、計算力、英語力、歴史や地理、政治経済の知識などに関する応用的な知識が定着できている。 b:学習計画の振り返りから自己評価と分析を行い、学習計画を達成できるように努力ができる。 c:意欲的に努力し、継続的に課題に取り組みことができる。	定期考査 小テスト	理解度確認課題 振り返りレポート	目標設定シート 取り組み態度
9月 /2月	試験問題に再チャレンジ	・一般常識、一般教養の問題を解いてみる。 ・就職試験や入学試験の過去問を解いてみる。	a:国語力、計算力、英語力、歴史や地理、政治経済の知識などの知識を応用的に活用できる技能を習得できている b:結果や成績をもとに自己分析を行うことができる。 c:問題に取り組み、自身の到達度や理解度を確認し、今後の目標や学習計画を設定することができる。	定期考査 小テスト	理解度確認課題 振り返りレポート	目標設定シート 取り組み態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度